資料－３

新たな拠点の整備について

【資料目次】

１．史跡宇治川太閤堤跡の概要 …… １

２．史跡宇治川太閤堤跡の調査結果と推定 …… ２

３．ゾーニングの考え方 …… ７

４．基本ゾーニング …… ８

５．整備に向けた詳細ゾーニング …… ９

６．計画平面図案 …… １０

１．史跡宇治川太閤堤跡の概要

史跡概要

① 名称：宇治川太閤堤跡（うじがわたいこうづつみあと）

② 種別：史跡

③ 所在地：宇治市　菟道丸山、宇治乙方、槇島町大島

④ 指定面積：２２５８４．０８㎡

⑤ 種別：治水施設（京都府内で、治水施設としての指定は初めて）

⑥ 概要：宇治川の右岸に、豊臣秀吉によって 16 世紀末に築造された堤跡

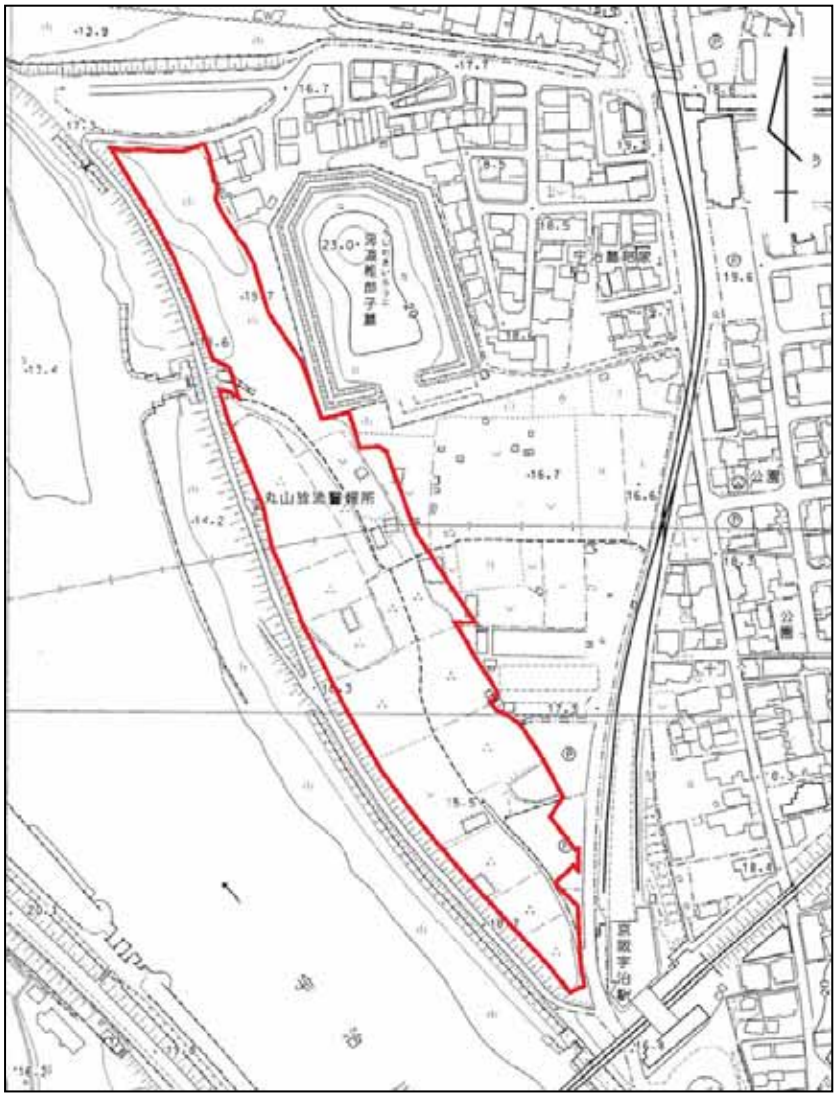
⑦ 史跡指定の経緯

平成 16 年ごろ：　宅地化のため、土地区画整理事業の計画が進行。

平成 19 年 9 月：　宇治川太閤堤跡を発見、現地説明会。

平成21年5月15日：　国の文化審議会文化財部会において、宇治川太閤堤跡を史跡に指定するよう答申を提出。

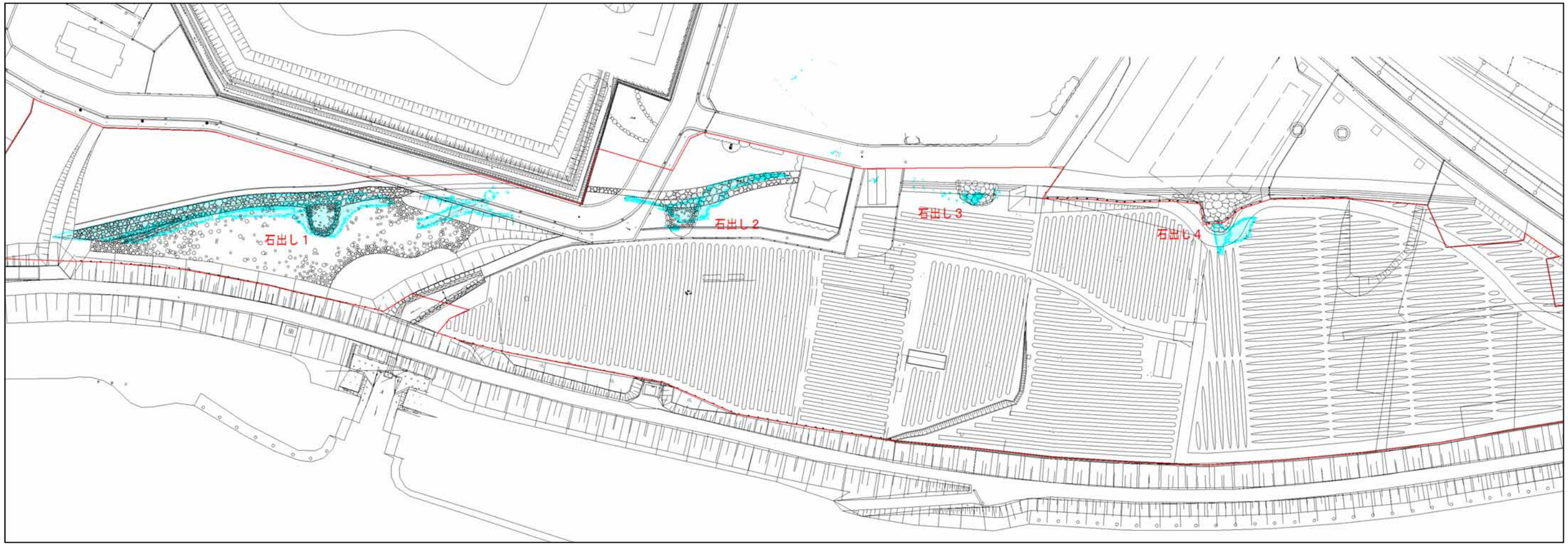
平成21年7月23日：　宇治川太閤堤跡の史跡指定。



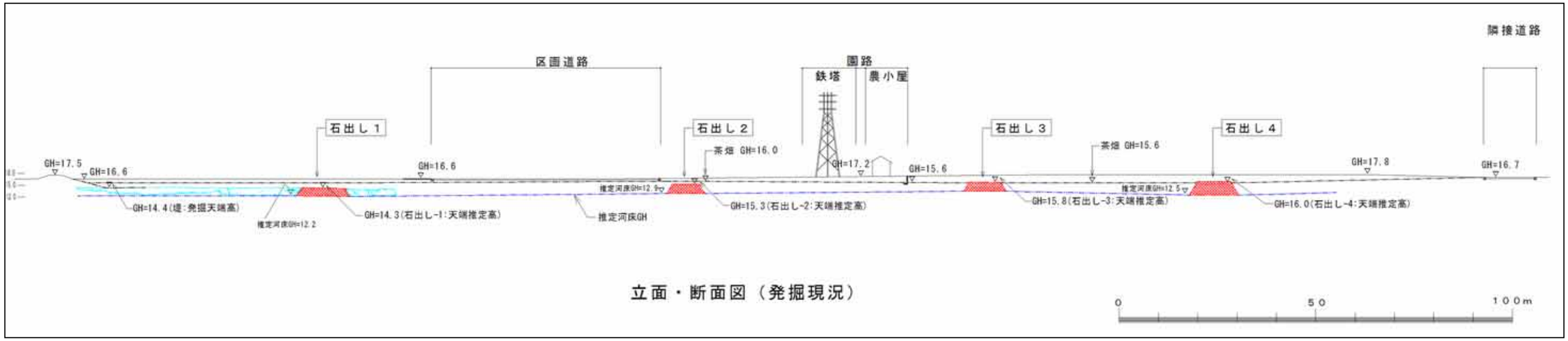
国史跡指定区域

２．史跡宇治川太閤堤跡の調査結果と推定

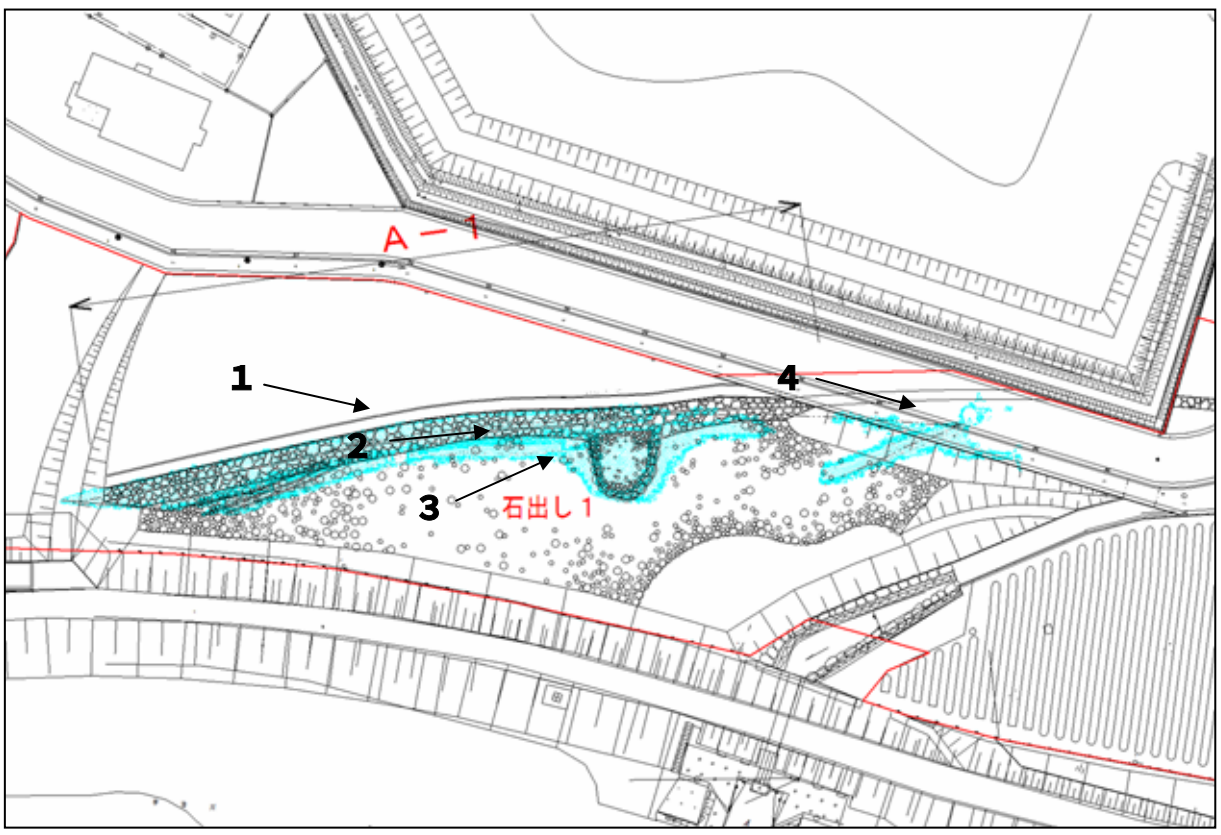
平面図



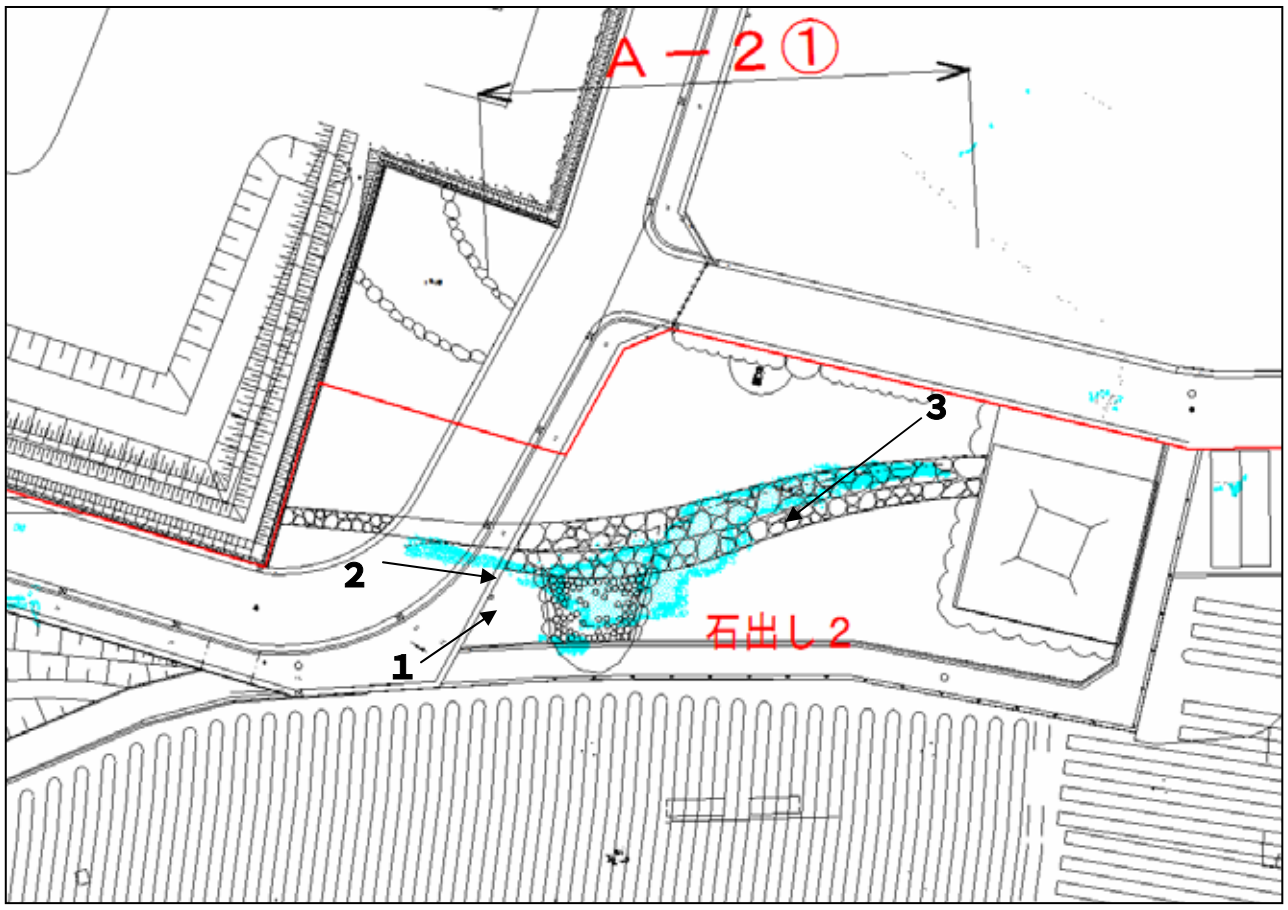
縦断図



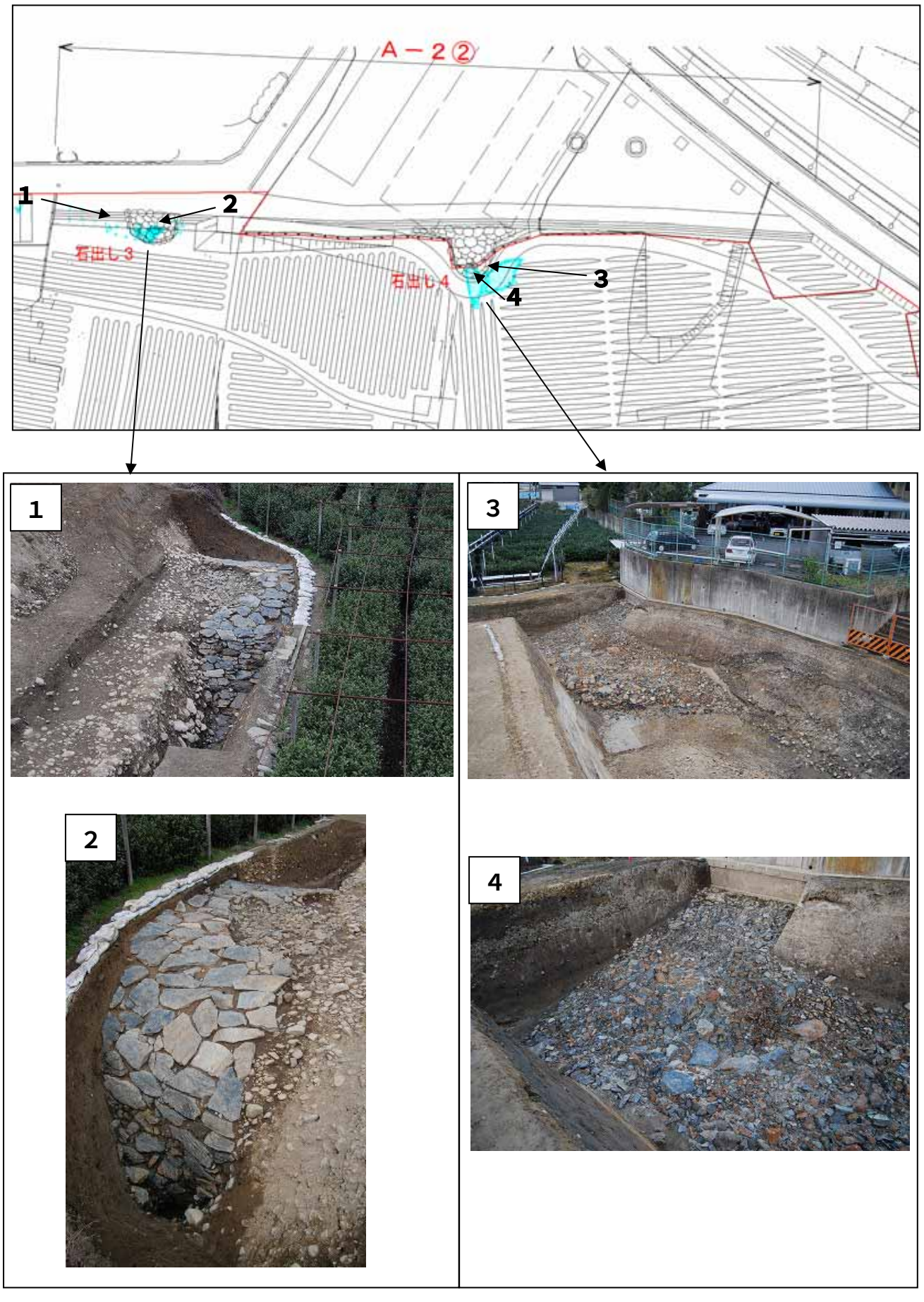
調査結果１



調査結果２

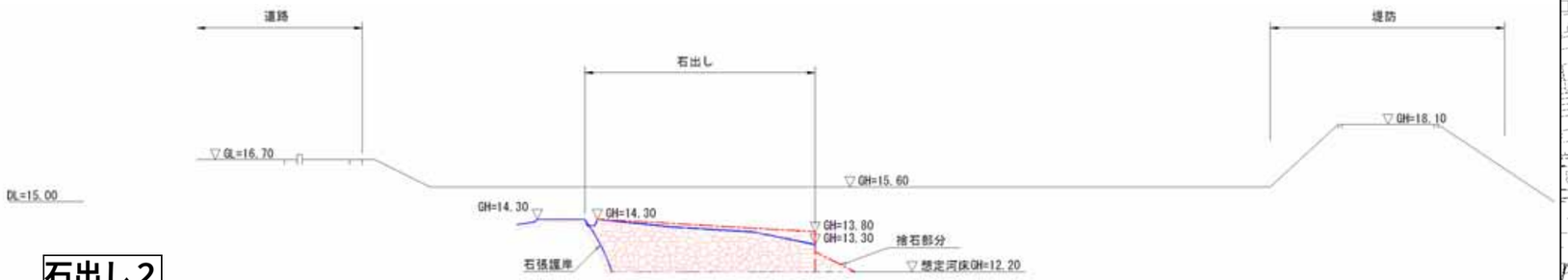


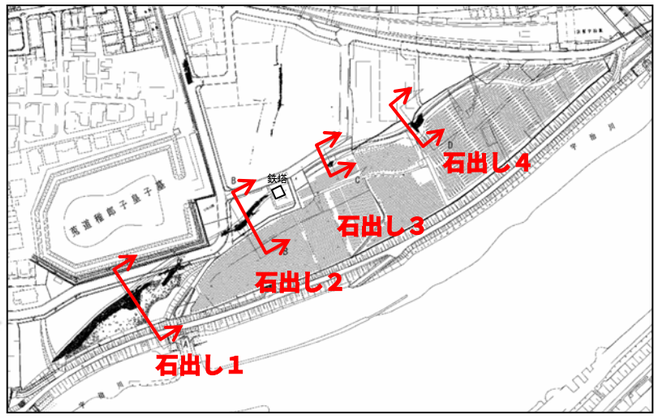
調査結果３・４



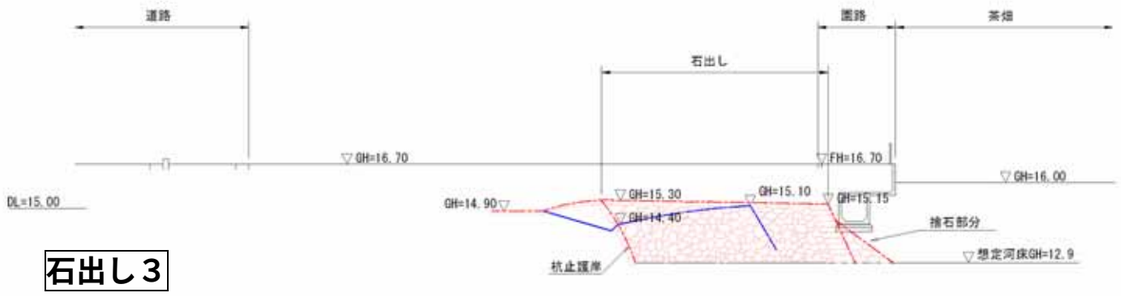
現況断面図（横断図）

石出し１

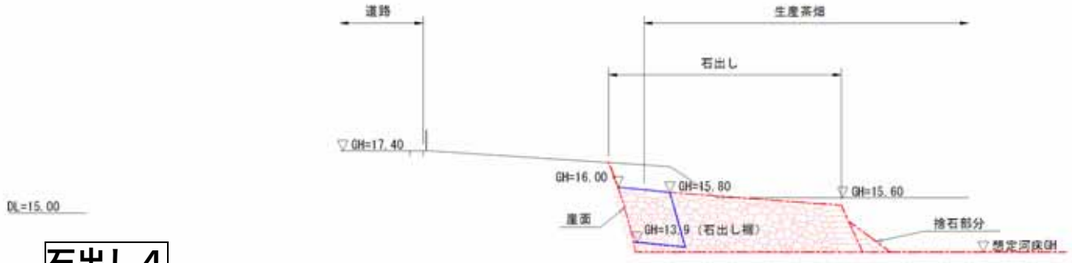


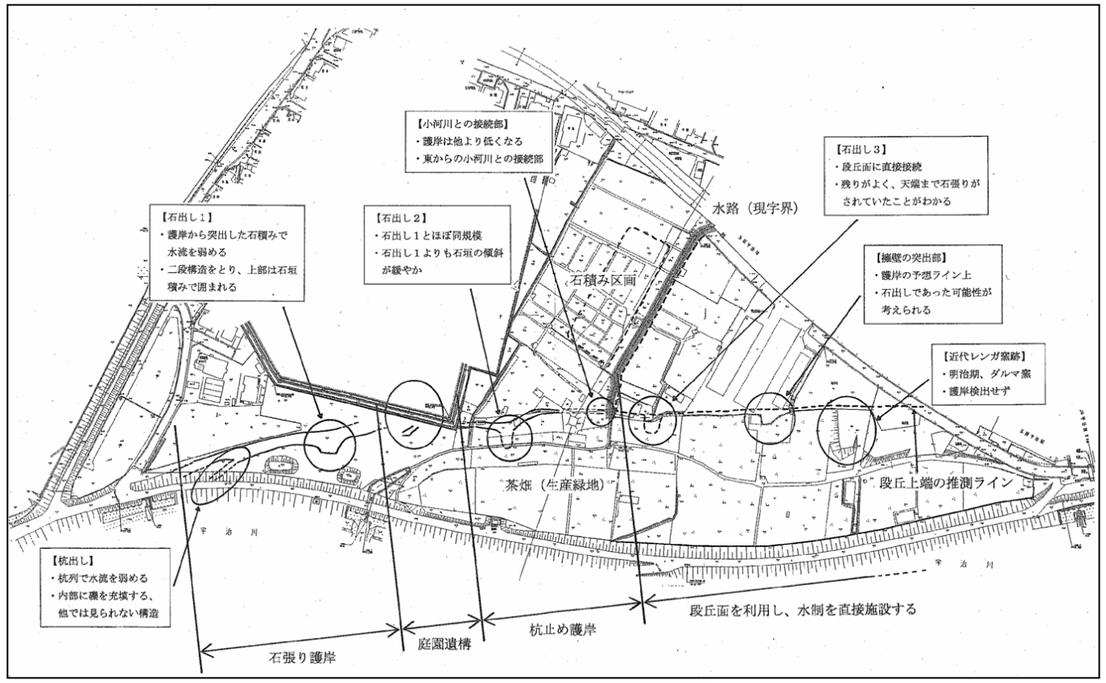


石出し２

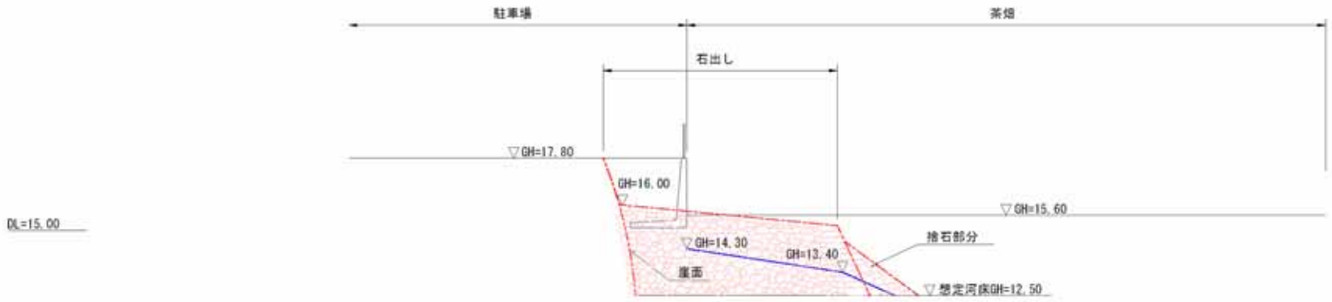


石出し３

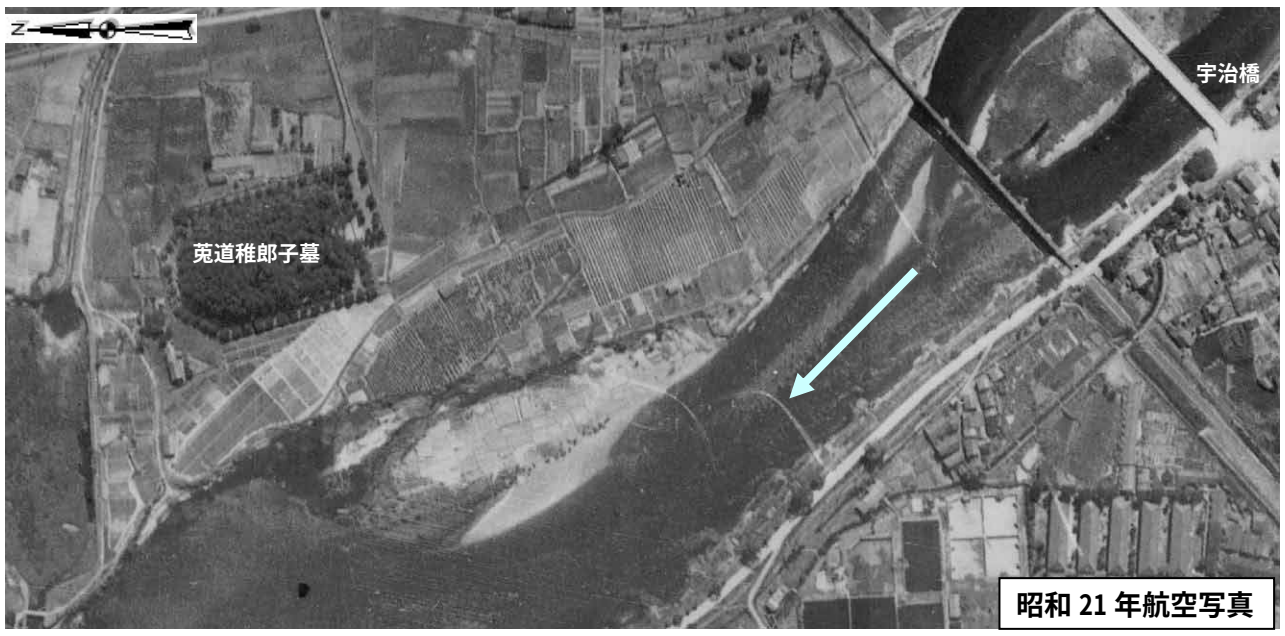




石出し４



３．ゾーニングの考え方



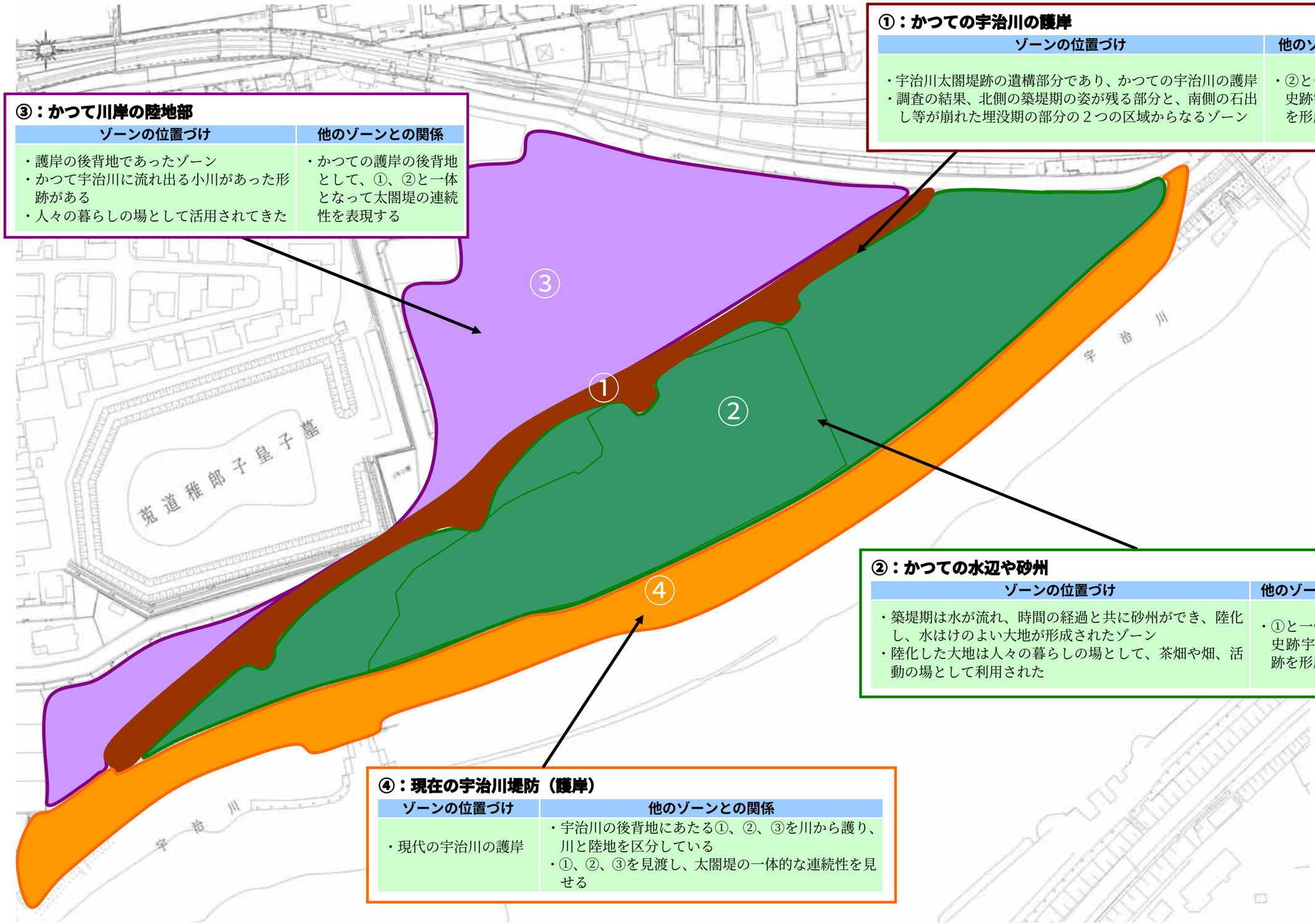
・　現在の宇治川堤防が築造される以前は、砂州が広がり、川幅を狭めていた。

・築堤期は太閤堤を境に川と陸があり、この陸地は人々の暮らしの場であった。
・時間の経過とともに、宇治川には中洲ができ、太閤堤の前面には土砂が堆積し、そして太閤堤は埋没した。
・砂州が陸化し、水はけのよい大地は人々の暮らしの場を広げ、茶畑や畑、活動の場として利用された。

・現在の宇治川堤防が築造され、砂州の西側は川となり、東側は陸となった

・太閤堤の歴史的価値を伝えるため、太閤堤が果たしていた役割を表現する。そのため、ゾーニングとしては、太閤堤が護岸であった時代の地形を基本としたゾーンニングを行う。

４．基本ゾーニング



①：かつての宇治川の護岸

ゾーンの位置づけ	他のゾーンとの関係
・宇治川太閤堤跡の遺構部分であり、かつての宇治川の護岸 ・調査の結果、北側の築堤期の姿が残る部分と、南側の石出し等が崩れた埋没期の部分の２つの区域からなるゾーン	・②と一体となって、史跡宇治川太閤堤跡を形成する

②：かつての水辺や砂州

ゾーンの位置づけ	他のゾーンとの関係
・築堤期は水が流れ、時間の経過と共に砂州ができ、陸化し、水はけのよい大地が形成されたゾーン ・陸化した大地は人々の暮らしの場として、茶畑や畑、活動の場として利用された	・①と一体となって、史跡宇治川太閤堤跡を形成する

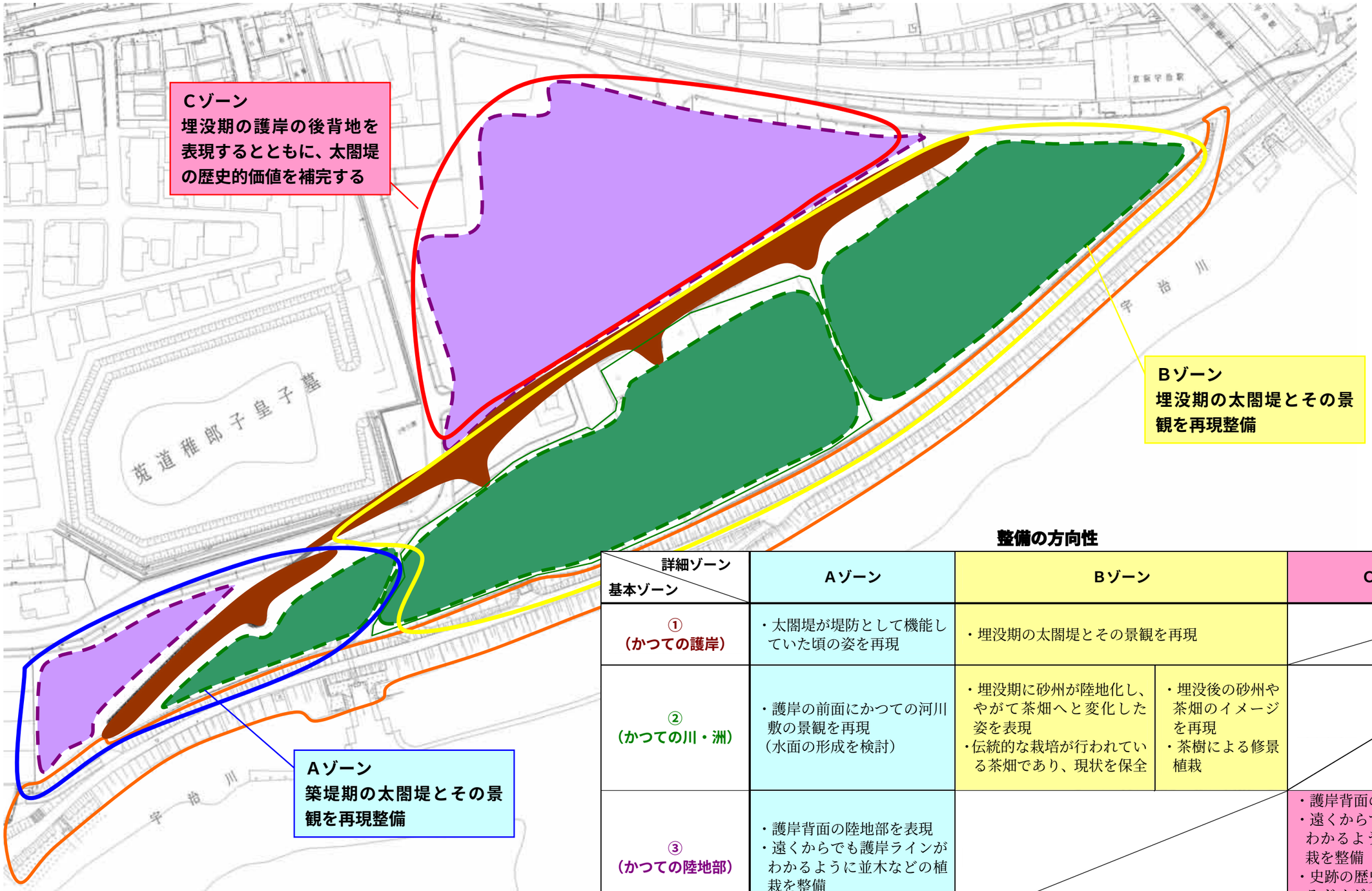
③：かつて川岸の陸地部

ゾーンの位置づけ	他のゾーンとの関係
・護岸の後背地であったゾーン ・かつて宇治川に流れ出る小川があった形跡がある ・人々の暮らしの場として活用されてきた	・かつての護岸の後背地として、①、②と一体となって太閤堤の連続性を表現する

④：現在の宇治川堤防（護岸）

ゾーンの位置づけ	他のゾーンとの関係
・現代の宇治川の護岸	・宇治川の後背地にあたる①、②、③を川から護り、川と陸地を区分している ・①、②、③を見渡し、太閤堤の一体的な連続性を見せる

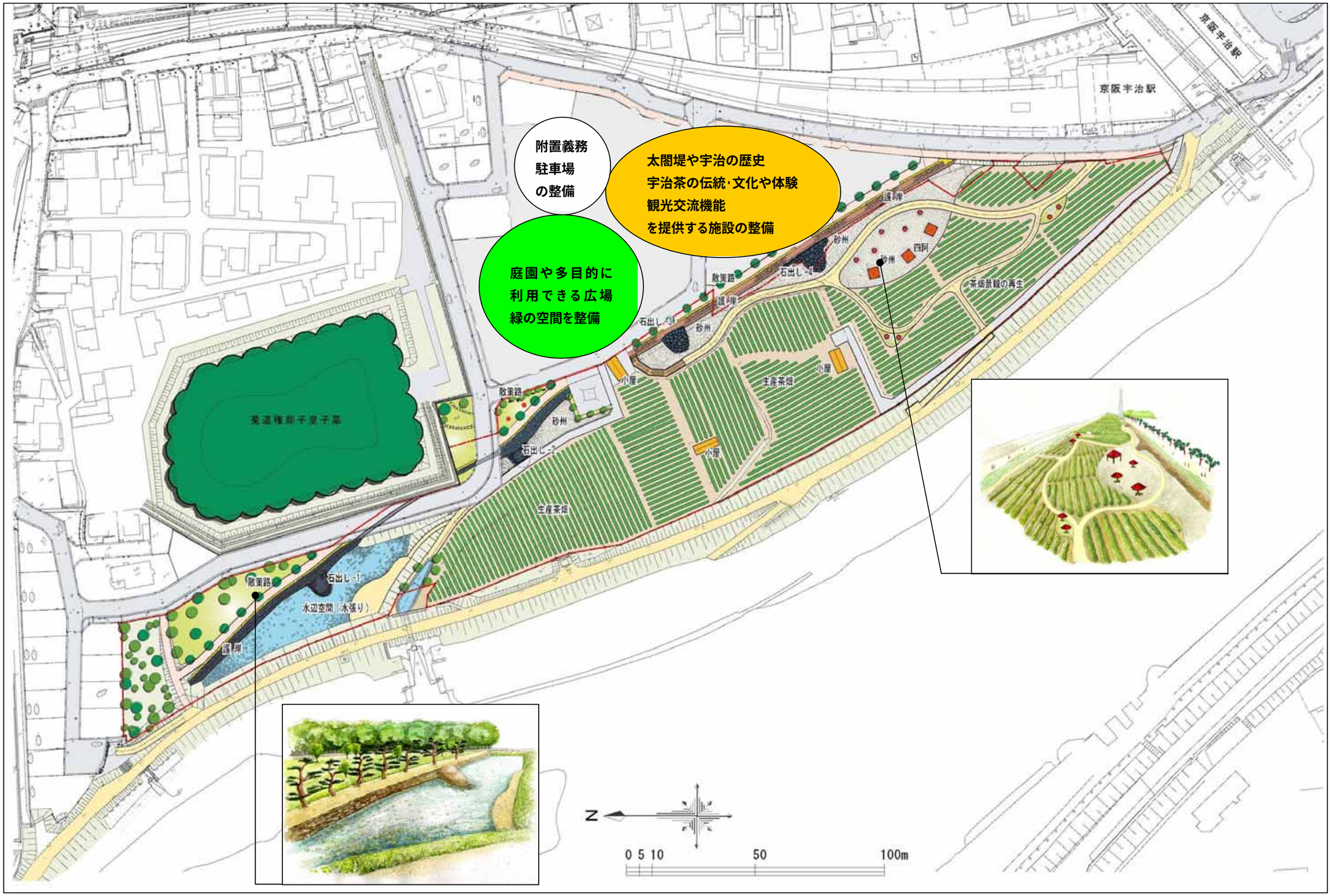
５．整備に向けた詳細ゾーニング



整備の方向性

詳細ゾーン / 基本ゾーン	Aゾーン	Bゾーン		Cゾーン
①（かつての護岸）	・太閤堤が堤防として機能していた頃の姿を再現	・埋没期の太閤堤とその景観を再現		
②（かつての川・洲）	・護岸の前面にかつての河川敷の景観を再現（水面の形成を検討）	・埋没期に砂州が陸地化し、やがて茶畑へと変化した姿を表現 ・伝統的な栽培が行われている茶畑であり、現状を保全	・埋没後の砂州や茶畑のイメージを再現 ・茶樹による修景植栽	
③（かつての陸地部）	・護岸背面の陸地部を表現 ・遠くからでも護岸ラインがわかるように並木などの植栽を整備			・護岸背面の陸地部を表現 ・遠くからでも護岸ラインがわかるように並木などの植栽を整備 ・史跡の歴史的価値を補完するガイダンス施設や、観光交流施設などを整備
④（現在の堤防）	見学路の一部として位置づけるとともに、視点場を設置を検討			

６．計画平面図案


附置義務
駐車場
の整備
太閤堤や宇治の歴史
宇治茶の伝統･文化や体験
観光交流機能
を提供する施設の整備
庭園や多目的に
利用できる広場
緑の空間を整備
京阪宇治駅
京阪宇治駅
護岸
砂州
四阿
砂州
石出し-4
散策路
護岸
石出し-3
砂州
茶畑景観の再生
小屋
生産茶畑
小屋
小屋
散策路
砂州
石出し-2
生産茶畑
石出し-1
散策路
水辺空間（水張り）
護岸
N
0 5 10
50
100m